

災害時の 排泄処理を 柔軟な発想で 備える

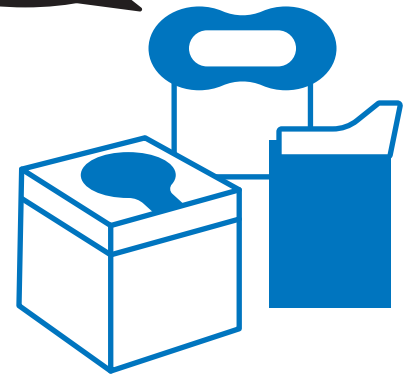
災害時の排泄物の
処理はどうするの？



普段使えるトイレが
使えない！



携帯トイレを備えて
おけば安心？



～ 備えて「心の余裕」を～

災害時のトイレの備え、考えたことはありますか？
災害発生時、私達が普段使っている水洗トイレが使えなくなったら
どんなことが起こるのでしょうか？
トイレ不足や衛生環境悪化は、人の命を脅かすことがあります。
災害時の排泄処理に対してどのような備えをすべきか、学びます。

定員

40名*

対象

どなたでも

参加費

無料

*応募多数の場合は抽選となります

2020年 **4月15日** (水)
10:00～11:30 (受付9:45～)
浜松市防災学習センター 3F 講座室

申込み
問合せ

● ホームページ上の申込みフォーム (右記 QR コード)
<https://forms.gle/U4e4gsBpMjeXspCi8>



● 電話 **053-474-8555** **4月8日(水) 締切**
(受付時間: 土・日以外の祝日を除く 9:30～17:00)

主催

浜松市防災学習センター 浜松市中区山下町192 (無料駐車場あり)
<https://hamamatsu-bousai.entetsuassist-dms.com/>

後援

静岡新聞社・静岡放送、中日新聞東海本社、FMHarO!、ウインディ



● 遠鉄バス「学芸高校前」「山下町」下車すぐ ● 遠鉄電車「八幡駅」から徒歩約10分



講師

Wooマンボープロジェクト
プロジェクトリーダー

濱田 晴子 氏

兵庫県生まれ。現在は静岡市内在住。
診療所で受付事務として働く傍ら、「マンションの備災と地域とマンションを繋ぐ」を
広める為、2018年11月【wooマンボープロジェクト】を立ち上げる。「明日、地震が
やってくる」の本との出会いから、「1週間家族での携帯トイレ生活」を実践し、その
経験から見えてきたことを伝え、備えることの啓発活動中。自分が実際に災害に遭った
ことが無くても、語り継がれる事から「学ぶ・考える・備える」ことはできる!!がモットー。